

北九州市立大学同窓会
すべての会員の皆さまへ

大学創立 70 周年記念事業支援募金へのご協力のお願い

謹啓 全国の各地、各界でご活躍の同窓会会員の皆さまにおかれては、母校・北九州市立大学の充実・発展をはじめ、在校生（学生会員）の実りある勉学環境や有意義なキャンパス生活などを後押しする同窓会の活動について、広報誌「北友会会報」、あるいは支部の広報活動などを通じて日ごろからご理解をいただいていることと存じます。また折に触れ、執行部に対して有益な提言や情報提供のほか、温情が伝わる叱咤、激励などを賜り、あらためて心から御礼を申し上げます。

さて、ご承知のように、私たちの母校は平成 28 年に創立 70 周年を迎えますが、大学はこの節目を「新時代」に向かって大きく飛躍する機会と位置付け、「創立 70 周年記念事業実行委員会」（委員長・近藤倫明学長）を設けて平成 27 年から 2 年間にわたり「70 周年記念事業」を計画しています。その事業の目的は【本学が目指す 3 つのビジョン—「地域」、「世界（地球）」、「環境」—をキーコンセプトとし、30 年先（創立 100 周年）の未来へ向かって、地域に根差し、世界に活躍のフィールドを広げ、地球規模のエネルギー・公害問題克服・生命など持続可能な環境共生社会の実現に向けて、大きく羽ばたくことを目的とする】としています。

同窓会は、この記念事業を積極的に支援していくことを平成 26 年度の運営・活動方針などに掲げています。これを踏まえ、大学が独自に調達した寄付金（募金）などで賄わねばならない記念事業を支援するため、後援会とともに記念事業実行委員会の寄付金部会に参画し、大学・同窓会・後援会の三者が一体となって募金活動に取り組むことを確認しました。この間の経過および同窓会として大学創立 70 周年記念事業を支援する基本方針は、先般の平成 26 年度第 2 回評議会承認され、その詳しい内容は旧冬 12 月 25 日発行の北友会会報 111 号に掲載していますので、ぜひ目を通してください。

同封しておりますのは、大学の 70 周年記念事業実行委員会が作成した「記念事業募金趣意書」ですが、募金を役立てる対象の事業は、約 6,500 人の在校生が利用する新図書館の設備充実や福利厚生施設の整備などが主体です。このうち福利厚生施設の整備は長年の懸案でありながら、整備費用は大学が独自に調達した寄付金などの財源に頼らざるを得ない財務事情もあり、その実現が足踏みしていました。「創立 70 周年は同窓会の学生会員でもある在校生にとって積年の要望を実現」という視点からも、同窓会として支援募金をすることは極めて意義深いと考えます。

ところで、過去、同窓会は「開学 40 周年記念事業」（昭和 60 年～62 年）と「同窓会創立 50 周年記念事業」（平成 11 年～13 年）を企画し、大学への設備寄贈などを含む記念事業の費用を賄うため、組織を挙げて寄付金募集（募金活動）を展開しました。この 2 回の記念事業に同窓会が自主的に取り組んだ背景には、体育館兼講堂や新校舎、本館の建設などに集中せざるを得ない当時の大学当局の財政事情もさることながら、在校生を含めた母校の充実を願う同窓会会員の愛校心の発露の結集がありました。同窓会は、この“力量”と“実績”を誇りにしたいと思います。

今年平成 27 年は、終戦のどん底から立ち上がった日本が「再生・復興 70 年」を刻みます。その歴史的な節目に連結する平成 28 年に「創立 70 周年」を迎える母校・北九州市立大学は、100 周年をも視野に入れた「大河」とも言うべき壮大な発展ビジョンを 70 周年記念事業で描いています。大河の源は一滴の水から生まれます。会員の皆さまが、この一滴の水を支援募金に置き換え、創立 70 周年記念事業の成功に向けてご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

謹白

平成 27 年 1 月吉日

北九州市立大学同窓会 会長 田村 允雄

【このお願いについてのお問い合わせ先】

〒802-0841 北九州市小倉南区北方 4 丁目 2-1 北九州市立大学同窓会本部事務局

TEL : 093-961-4719 / Fax : 093-963-5837

e-mail = jimukyoku@kitakyu-dousoukai.com